



2025年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月7日

上場会社名 株式会社ダイフク 上場取引所 東
コード番号 6383 URL <https://www.daifuku.com/jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 下代 博
問合せ先責任者（役職名） 取締役常務執行役員 CFO（氏名） 日比 徹也（TEL）06-6472-1261
半期報告書提出予定日 2025年8月8日 配当支払開始予定日 2025年9月10日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年1月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期中間期	326,489	—	51,103	—	52,523	—	37,623	—
2024年12月期中間期	302,621	7.6	38,144	100.1	38,186	83.3	29,712	109.2

（注）包括利益 2025年12月期中間期 24,757百万円（—％） 2024年12月期中間期 45,226百万円（67.3％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期中間期	102.32	97.58
2024年12月期中間期	80.15	76.43

（注）当社は、2024年12月期より決算期（事業年度の末日）を3月31日から12月31日に変更しました。これに伴い、2025年12月期中間期（2025年1月1日から2025年6月30日）と比較対象となる2024年12月期中間期（2024年4月1日から2024年9月30日）の期間が異なるため、2025年12月期中間期の対前年中間期増減率については記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期中間期	703,697	411,059	58.4
2024年12月期	688,707	398,424	57.8

（参考）自己資本 2025年12月期中間期 411,042百万円 2024年12月期 398,094百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	23.00	—	32.00	55.00
2025年12月期	—	34.00			
2025年12月期（予想）			—	34.00	68.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(％表示は、対前期増減率)									
	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 650,000	％ —	百万円 87,000	％ —	百万円 90,000	％ —	百万円 68,000	％ —	円 銭 184.94

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有
2 2024年12月期は、決算期変更の経過期間に伴い9カ月間の変則決算であったことから、対前期増減率は記載していません。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社（社名） 、除外 一社（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）				
① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期中間期	379,830,231株	2024年12月期	379,830,231株
② 期末自己株式数	2025年12月期中間期	12,129,512株	2024年12月期	12,145,612株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年12月期中間期	367,692,601株	2024年12月期中間期	370,708,392株

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する自己株式を含んでいます。株式給付信託(BBT)が保有する自己株式数は、2025年12月期中間期末445,500株、2024年12月期末462,200株です。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
連結業績予想の数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績等は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料5ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）
決算補足説明資料は、TDnetで8月7日に開示し、同日、当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 中間連結貸借対照表	6
(2) 中間連結損益及び包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	12
(収益認識関係)	14

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

〔決算期変更に伴う連結対象期間について〕

- ・当中間連結会計期間(株式会社ダイフク並びに国内外すべての子会社:2025年1月1日～6月30日)
- ・前中間連結会計期間(株式会社ダイフク並びに国内を中心とした従来の3月末決算会社:2024年4月1日～9月30日、海外を中心とした子会社:2024年1月1日～6月30日)

前連結会計年度より、当社の決算期(事業年度の末日)は、3月31日から12月31日に変更となりました。上記のとおり、前中間連結会計期間と当中間連結会計期間で連結対象期間が異なりますが、参考情報として対前年同期に対する増減率を記載しています。

当中間連結会計期間における世界の経済は、概ね順調に推移したものの、米国通商政策の影響による不確実性の高まりや中国経済の低迷により、不透明感が増しています。

事業環境としては、日米における一般製造業・流通業では、労働力不足や人件費上昇等を背景として、製造・物流現場における自動化投資が回復基調にあります。半導体産業では、中国におけるレガシー半導体投資が継続しています。また、生成AI向け半導体需要の急増に伴い、後工程における自動化も含めた先端半導体投資の強い需要が続いています。自動車産業では、最終的な関税の決定内容を見極めるため、お客さまの意思決定にやや遅れが生じているものの、米国を中心に引き続き高水準の投資が計画されています。空港においては、航空旅客数の増加に対応するための自動化投資の需要が継続しています。

このような経済・事業環境の下、当中間連結会計期間の受注は、一般製造業・流通業、自動車生産ライン向けシステムが減少したものの、半導体生産ライン、空港向けシステムが増加し、全体としては前年並みの水準となりました。売上は、一般製造業・流通業、半導体生産ライン、自動車生産ライン向けシステムが、豊富な前期末受注残高をベースに順調に推移し、増収となりました。

この結果、受注高は3,344億58百万円(前年同期比0.2%増)、売上高は3,264億89百万円(同7.9%増)となりました。

なお、前連結会計年度までは為替変動に伴う直近期末受注残高の洗い替え増減額を当該期における受注高に含めて開示していましたが、当連結会計年度より受注高に含めず開示することに変更しました。2024年12月期の中間連結会計期間の受注高には、2024年3月期末の受注残高に対する為替変動の影響による増加額281億円が含まれており、本影響額を除いた実質ベースの前年同期比増減率は9.4%増となります。四半期ベースでは、当第1四半期(2025年1～3月)の受注高1,431億23百万円に対して、当第2四半期(2025年4～6月)の受注高は1,913億35百万円となり33.7%増加しました。また、2024年3月期以降の直近期末受注残高の為替変動による洗い替え増減額を含まない四半期ベースの受注高としては、当第2四半期が最高となりました。

利益面では、生産効率化をはじめとするコスト削減への取り組み等が寄与したことや、当中間連結会計期間には収益性が良好なサービス売上高が季節要因により増加する国内1～3月が含まれる(前中間期連結会計期間に含まれる国内は4～9月)ため、利益率が向上しました。

この結果、営業利益は511億3百万円(同34.0%増)、経常利益は525億23百万円(同37.5%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は376億23百万円(同26.6%増)となりました。

なお、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益は、いずれも中間連結会計期間としては過去最高です。

当中間連結会計期間の当社グループの平均為替レートは、米ドルで147.66円(前年同期154.08円)、中国元で20.36円(同21.26円)、韓国ウォンで0.1038円(同0.1133円)、台湾ドルで4.66円(同4.81円)等となりました。これらの為替の変動により、受注高は約114億円、売上高は約82億円、営業利益は約12億円、それぞれ減少しました。

〔米国通商政策等の影響及び対応〕

米国は、当中間連結会計期間において売上高831億円、構成比25%（前連結会計年度は1,677億円、構成比30%）を占める重点市場の一つです。

米国が導入した相互関税により、米国外から調達する一部の製品・部材が課税対象になるものの、一般製造業・流通業、自動車生産ライン、空港向けシステムは、大部分を米国で生産しています。また、半導体生産ライン向けシステムは、日本・台湾・韓国で生産し米国に輸出していますが、お客さまが輸入者となる契約が大多数です。このため、当社グループが負担する関税は限定的です。

ただし、米国の通商政策が、自動車・半導体産業を中心としたお客さまの今後の投資計画（国・金額・時期）に影響を及ぼす可能性があります。これまで以上にお客さまとのコミュニケーションを深め、投資計画の見直しに対しても、当社グループのグローバルネットワークを活かした最適な提案活動を行って、受注に結び付けていきます。

なお、当社グループは米国を成長市場と位置付け、今後生産能力の不足が見込まれる一般製造業・流通業向けシステムの新工場を建設中であり、2025年10月竣工の予定です。これに伴い、米国における一般製造業・流通業向けシステムの生産能力は従来比約2倍になります。「地産地消」の強みを活かして、米国市場での売上高増加とシェア拡大を図るため、生産能力増強後を見据えた受注活動を強化しています。

〔セグメントごとの業績〕

セグメントごとの業績は次のとおりです。受注・売上は外部顧客への受注高・売上高を、セグメント利益は親会社株主に帰属する中間純利益を記載しています。

報告セグメントに関する詳細は、後記（セグメント情報等）をご覧ください。

① 株式会社ダイフク

受注は、一部案件でお客さまの意思決定に遅れが生じたことにより、一般製造業・流通業、自動車生産ライン向けシステムは減少しました。

売上は、当中間連結会計期間にサービス売上高が季節要因により増加する1～3月が含まれる（前中間連結会計期間は4～9月）ことや、豊富な前期末受注残高をベースにいずれの領域も順調に推移しました。

セグメント利益は、生産効率化をはじめとする各種コスト削減への取り組みや、収益性が良好なサービス売上高の増収効果等により、大幅な増益となりました。

この結果、受注高は959億77百万円（前年同期比8.9%減）、売上高は1,343億6百万円（同10.6%増）、セグメント利益は340億25百万円（同92.6%増）となりました。

② コンテックグループ

受注は、前期に北米の空港セキュリティ分野向けで大口受注があったことから減少しました。売上は、北米の医療分野向けが順調に推移し増加しました。

セグメント利益は、収益性が国内市場で改善したものの、為替変動の影響により減少しました。

この結果、受注高は87億61百万円（前年同期比9.5%減）、売上高は95億73百万円（同3.2%増）、セグメント利益は3億36百万円（同6.9%減）となりました。

③ Daifuku North America, Inc. (DNA) グループ

受注は、空港向けシステムで大型案件を受注したことにより増加した一方で、半導体生産ライン、自動車生産ライン向けシステムが減少しました。

売上は、一般製造業・流通業、自動車生産ライン向けシステムが豊富な前期末受注残高をベースに順調に推移したものの、一部業務の見直しに伴い全体としては減収となりました。

セグメント利益は、生産効率化をはじめとする各種コスト削減への取り組み等が寄与し、増益となりました。

この結果、受注高は1,135億52百万円（前年同期比2.8%減）、売上高は809億72百万円（同6.3%減）、セグメント利益は81億45百万円（同32.8%増）となりました。

④ Clean Factomation, Inc. (CFI)

受注は、生成AI向け先端半導体投資の需要拡大により大きく増加しました。売上・セグメント利益は、前期末の受注残高をベースに順調に推移しました。

この結果、受注高は355億48百万円(前年同期比187.3%増)、売上高は188億46百万円(同45.3%増)、セグメント利益は15億円(同62.1%増)となりました。

⑤ 大福自動搬送設備(蘇州)有限公司(DSA)

受注は、レガシー半導体向け投資が継続したものの、大型案件の受注時期が下期に繰り延べとなったため、前中間連結会計期間の実績には及びませんでした。

売上・セグメント利益は、受注残高の減少の影響により、減収減益となりました。

この結果、受注高は140億83百万円(前年同期比44.2%減)、売上高は210億30百万円(同16.6%減)、セグメント利益は57億12百万円(同18.5%減)となりました。

⑥ その他

「その他」は、当社グループを構成する連結子会社65社のうち、上記②③④⑤以外の国内外の子会社です。これらの各社は、マテリアルハンドリングシステム・洗車機等の製造・販売・工事・サービスを行っています。主な子会社の状況は、次のとおりです。

国内子会社：

株式会社ダイフクプラスモアは、各種洗車機の販売等を行っています。

海外子会社：

中国、台湾、韓国、タイ、インドなどにマテリアルハンドリングシステム・洗車機の生産拠点があり、最適地生産・調達体制の一翼を担いつつ、販売・工事・サービスも行っています。

また、北中米、アジア、欧州、オセアニアには販売・工事・サービスを行う子会社を幅広く配置しています。

受注は、生成AI向け先端半導体投資の需要拡大に伴い、半導体生産ライン向けシステムを中心に順調に推移しました。売上・セグメント利益についても、前期末受注残高をベースに半導体生産ライン向けシステムを中心に好調に推移しました。

この結果、受注高は665億36百万円(前年同期比3.2%増)、売上高は621億26百万円(同33.7%増)、セグメント利益は59億21百万円(同197.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

資産は、前連結会計年度末に比べ149億90百万円増加し、7,036億97百万円となりました。これは主に原材料及び貯蔵品が54億92百万円減少したものの、現金及び預金が増加したことから増加したことです。

負債は、前連結会計年度末に比べ23億55百万円増加し、2,926億37百万円となりました。これは主に契約負債が増加したことから増加したことです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ126億34百万円増加し、4,110億59百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定が増加したことから増加したことです。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ94億33百万円増加し、2,298億28百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、443億50百万円となりました(前年同期は680億38百万円の増加)。これは主に売上債権及び契約資産の増加額が124億46百万円あったものの、税金等調整前中間純利益が523億97百万円、棚卸資産の減少額が72億74百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、140億76百万円となりました(前年同期は6億76百万円の増加)。これは主に固定資産の取得による支出が152億89百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、136億71百万円となりました(前年同期は169億75百万円の減少)。これは主に短期借入金の減少額が10億86百万円、配当金の支払額が113億66百万円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2025年5月13日に公表した、2025年12月期通期の業績予想を以下のように修正しました。

豊富な前期末受注残高をベースに、売上高が計画通りに推移する一方、生産の効率化をはじめとするコスト削減への取り組み等が寄与したことにより収益性が向上し、利益面は2025年5月13日に公表した業績予想を上回る見通しとなりました。修正した業績予想へは米国の関税政策の影響も反映済です。なお、2025年12月期の為替レートは対米ドル148円の期初前提を据え置いています。

2025年12月期通期連結業績予想の修正(2025年1月1日～2025年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	650,000	81,500	84,300	65,000	176.78
今回発表予想(B)	650,000	87,000	90,000	68,000	184.94
増減額(B-A)	—	5,500	5,700	3,000	—
増減率(%)	—	6.7	6.8	4.6	—

(注) 上記予想は、当社が本業績予想の発表日において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績等は様々な要因で予想値と異なる結果となる場合があります。

なお、2025年5月13日に公表した通期の受注高予想700,000百万円は据え置いています。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	221,521	230,838
受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産	224,847	232,135
商品及び製品	9,729	9,301
未成工事支出金等	16,477	13,654
原材料及び貯蔵品	36,738	31,246
その他	24,157	20,829
貸倒引当金	△1,888	△1,759
流動資産合計	531,584	536,244
固定資産		
有形固定資産	85,775	94,907
無形固定資産		
のれん	2,786	2,193
その他	9,575	9,665
無形固定資産合計	12,362	11,859
投資その他の資産		
その他	58,985	60,686
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	58,984	60,686
固定資産合計	157,122	167,453
資産合計	688,707	703,697
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	61,292	62,173
電子記録債務	20,466	20,729
短期借入金	2,337	1,152
未払法人税等	5,548	15,591
契約負債	85,010	73,712
賞与引当金	12,605	7,646
工事損失引当金	666	265
その他	26,316	34,298
流動負債合計	214,244	215,568
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	60,933	60,830
長期借入金	100	100
退職給付に係る負債	6,616	6,546
その他の引当金	601	643
その他	7,785	8,948
固定負債合計	76,037	77,068
負債合計	290,282	292,637

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当中間連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,865	31,865
資本剰余金	20,473	20,413
利益剰余金	327,210	353,052
自己株式	△30,781	△30,749
株主資本合計	348,767	374,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,777	4,907
繰延ヘッジ損益	△127	94
為替換算調整勘定	41,965	29,632
退職給付に係る調整累計額	1,712	1,824
その他の包括利益累計額合計	49,326	36,460
非支配株主持分	330	17
純資産合計	398,424	411,059
負債純資産合計	688,707	703,697

(2) 中間連結損益及び包括利益計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
売上高	302,621	326,489
売上原価	234,565	246,732
売上総利益	68,055	79,756
販売費及び一般管理費		
販売費	9,303	9,411
一般管理費	20,606	19,242
販売費及び一般管理費合計	29,910	28,653
営業利益	38,144	51,103
営業外収益		
受取利息	1,457	1,528
受取配当金	235	188
受取賃貸料	110	109
その他	219	256
営業外収益合計	2,022	2,083
営業外費用		
支払利息	187	107
社債利息	△102	△102
為替差損	1,833	572
その他	63	86
営業外費用合計	1,981	663
経常利益	38,186	52,523
特別利益		
投資有価証券売却益	1,088	101
その他	12	20
特別利益合計	1,101	121
特別損失		
固定資産除売却損	174	182
特別退職金	534	64
その他	32	0
特別損失合計	740	247
税金等調整前中間純利益	38,547	52,397
法人税、住民税及び事業税	13,395	19,057
法人税等調整額	△4,603	△4,285
法人税等合計	8,792	14,772
中間純利益	29,755	37,625
(内訳)		
親会社株主に帰属する中間純利益	29,712	37,623
非支配株主に帰属する中間純利益	42	2

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,069	△869
繰延ヘッジ損益	158	222
為替換算調整勘定	17,619	△12,333
退職給付に係る調整額	△237	112
その他の包括利益合計	15,471	△12,867
中間包括利益	45,226	24,757
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	45,149	24,756
非支配株主に係る中間包括利益	77	0

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	38,547	52,397
減価償却費	4,632	4,194
受取利息及び受取配当金	△1,692	△1,717
支払利息	187	107
社債利息	△102	△102
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	41,685	△12,446
棚卸資産の増減額(△は増加)	2,351	7,274
仕入債務の増減額(△は減少)	△12,284	3,538
契約負債の増減額(△は減少)	10,195	△7,760
その他	△5,121	5,663
小計	78,397	51,149
利息及び配当金の受取額	1,700	1,705
利息の支払額	△190	△103
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△11,521	△8,657
その他	△347	256
営業活動によるキャッシュ・フロー	68,038	44,350
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,608	—
定期預金の払戻による収入	5,153	580
固定資産の取得による支出	△5,481	△15,289
固定資産の売却による収入	231	29
投資有価証券の売却による収入	1,611	701
投資有価証券の償還による収入	900	—
投資有価証券の取得による支出	△11	△5
その他	△119	△92
投資活動によるキャッシュ・フロー	676	△14,076
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△6,563	△1,086
自己株式の取得による支出	△2	△2
配当金の支払額	△9,642	△11,366
その他	△766	△1,216
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,975	△13,671
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,260	△7,169
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	60,999	9,433
現金及び現金同等物の期首残高	136,445	220,395
現金及び現金同等物の中間期末残高	197,445	229,828

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNA	CFI	DSA	計		
売上高								
外部顧客への売上高	121,477	9,275	86,415	12,973	25,223	255,364	46,470	301,835
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,155	1,931	1,281	2,482	372	24,223	6,441	30,665
計	139,633	11,206	87,696	15,456	25,595	279,588	52,912	332,500
セグメント利益	17,670	362	6,135	925	7,006	32,100	1,987	34,087

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

2 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	279,588
「その他」の区分の売上高	52,912
セグメント間取引消去	△30,665
その他の連結上の調整額	785
中間連結財務諸表の売上高	302,621

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	32,100
「その他」の区分の利益	1,987
関係会社からの配当金の消去	△3,917
その他の連結上の調整額	△457
中間連結財務諸表の 親会社株主に帰属する中間純利益	29,712

当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNA	CFI	DSA	計		
売上高								
外部顧客への売上高	134,306	9,573	80,972	18,846	21,030	264,730	62,126	326,856
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18,318	2,179	382	668	201	21,750	4,708	26,458
計	152,625	11,753	81,354	19,515	21,231	286,480	66,834	353,315
セグメント利益	34,025	336	8,145	1,500	5,712	49,720	5,921	55,641

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

2 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	286,480
「その他」の区分の売上高	66,834
セグメント間取引消去	△26,458
その他の連結上の調整額	△367
中間連結財務諸表の売上高	326,489

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	49,720
「その他」の区分の利益	5,921
関係会社からの配当金の消去	△17,951
その他の連結上の調整額	△67
中間連結財務諸表の 親会社株主に帰属する中間純利益	37,623

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 業種別の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNA	CFI	DSA	計		
自動車及び自動車部品	14,233	46	14,612	—	—	28,893	9,250	38,143
エレクトロニクス	49,718	461	8,788	12,973	25,223	97,165	7,712	104,877
商業及び小売業	20,566	4,133	28,553	—	—	53,253	10,592	63,846
運輸・倉庫	8,703	40	2,187	—	—	10,931	4,007	14,939
機械	4,314	370	63	—	—	4,748	907	5,655
化学・薬品	9,377	3,086	6	—	—	12,470	1,127	13,598
食品	4,180	0	6,854	—	—	11,034	1,030	12,065
鉄鋼・非鉄金属	2,331	2	14	—	—	2,349	74	2,423
精密機器・印刷・事務機	1,559	748	2	—	—	2,310	298	2,608
空港	1,198	317	19,092	—	—	20,607	10,030	30,638
その他	5,294	68	6,238	—	—	11,601	1,438	13,039
外部顧客への売上高	121,477	9,275	86,415	12,973	25,223	255,364	46,470	301,835
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	—	785
中間連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	—	302,621

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

2 仕向地別の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNA	CFI	DSA	計		
日本	80,998	5,014	445	—	—	86,458	6,828	93,287
海外	40,479	4,260	85,970	12,973	25,223	168,906	39,642	208,548
北米	1,885	3,354	79,201	539	—	84,981	3,693	88,675
アジア	36,065	654	872	12,434	25,223	75,249	24,569	99,818
中国	26,532	440	15	225	24,979	52,194	5,656	57,851
韓国	605	50	—	12,209	—	12,865	4,704	17,570
台湾	6,347	54	—	—	243	6,645	6,662	13,307
その他	2,579	108	856	—	—	3,544	7,545	11,089
欧州	964	251	2,916	—	—	4,132	3,443	7,575
中南米	276	0	2,073	—	—	2,350	1,270	3,620
その他	1,287	—	905	—	—	2,193	6,665	8,858
外部顧客への売上高	121,477	9,275	86,415	12,973	25,223	255,364	46,470	301,835
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	—	785
中間連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	—	302,621

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

3 収益認識の時期別の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNA	CFI	DSA	計		
一時点で移転される財	26,289	5,635	7,270	449	789	40,434	14,494	54,928
一定の期間にわたり移転される財	95,187	3,639	79,144	12,524	24,434	214,930	31,976	246,907
外部顧客への売上高	121,477	9,275	86,415	12,973	25,223	255,364	46,470	301,835
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	—	785
中間連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	—	302,621

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

当中間連結会計期間(自 2025年1月1日 至 2025年6月30日)

1 業種別の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNA	CFI	DSA	計		
自動車及び自動車部品	17,139	143	16,358	—	—	33,640	7,166	40,807
エレクトロニクス	54,804	588	8,346	18,846	21,030	103,616	22,615	126,232
商業及び小売業	26,835	4,192	26,306	—	—	57,335	11,269	68,604
運輸・倉庫	8,816	27	1,032	—	—	9,876	4,984	14,861
機械	2,827	131	309	—	—	3,269	598	3,867
化学・薬品	6,320	3,077	8	—	—	9,407	1,453	10,861
食品	6,915	0	1,780	—	—	8,696	3,315	12,012
鉄鋼・非鉄金属	3,230	13	11	—	—	3,255	122	3,377
精密機器・印刷・事務機	1,238	818	2	—	—	2,059	341	2,400
空港	789	515	25,333	—	—	26,638	8,708	35,347
その他	5,388	64	1,481	—	—	6,934	1,550	8,484
外部顧客への売上高	134,306	9,573	80,972	18,846	21,030	264,730	62,126	326,856
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	—	△367
中間連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	—	326,489

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

2 仕向地別の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNA	CFI	DSA	計		
日本	82,535	5,255	—	—	—	87,791	5,620	93,411
海外	51,771	4,318	80,972	18,846	21,030	176,939	56,505	233,445
北米	2,543	3,588	77,851	82	—	84,064	1,360	85,425
アジア	46,901	568	349	18,764	21,030	87,614	42,057	129,672
中国	17,692	322	17	63	21,012	39,108	4,637	43,746
韓国	674	38	2	18,700	—	19,416	4,802	24,218
台湾	24,403	109	—	—	18	24,531	20,239	44,770
その他	4,130	97	330	—	—	4,557	12,378	16,936
欧州	1,456	157	1,731	—	—	3,345	4,239	7,584
中南米	389	1	870	—	—	1,261	145	1,407
その他	479	2	169	—	—	652	8,703	9,355
外部顧客への売上高	134,306	9,573	80,972	18,846	21,030	264,730	62,126	326,856
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	—	△367
中間連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	—	326,489

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

3 収益認識の時期別の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNA	CFI	DSA	計		
一時点で移転される財	32,479	5,940	7,384	553	881	47,239	12,987	60,226
一定の期間にわたり移転される財	101,827	3,633	73,588	18,292	20,148	217,491	49,138	266,630
外部顧客への売上高	134,306	9,573	80,972	18,846	21,030	264,730	62,126	326,856
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	—	△367
中間連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	—	326,489

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。